

2018年7月26日

各 位

上場会社名 株式会社 LIFULL  
 代表者名 代表取締役社長 井上 高志  
 (コード番号 2120 東証第一部)  
 問合せ先 執行役員 グループ経営推進本部長 阿部 和彦  
 (TEL 03-6774-1603)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2017年11月13日に公表いたしました「2018年9月期通期（2017年10月1日～2018年9月30日）の業績予想」を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 2018年9月期通期業績予想の修正

連結業績（2017年10月1日～2018年9月30日）

（単位：百万円）

	売上収益	EBITDA	営業利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	1株当たり当期利益
前回発表予想（A）	41,000	6,016	5,000	3,478	29.30
今回修正予想（B）	34,000	5,190	4,000	2,800	23.59
増減額（B-A）	△7,000	△826	△1,000	△678	—
増減率（%）	△17.1	△13.7	△20.0	△19.5	—
（参考）前年同期実績	32,111	3,906	2,579	1,577	13.29

※当社は前連結会計年度より決算期を3月31日から9月30日に変更しました。そのため、前年同期実績については2016年10月～2017年9月の数値となっております。

### 2. 業績予想修正の主な要因

当期のセグメント毎の連結売上収益業績予想数値は以下の通りです。

（単位：百万円）

セグメント別売上収益比較	HOME'S関連	海外	その他	合計
前回発表予想（A）	33,441	4,834	2,723	41,000
今回修正予想（B）	28,100	3,800	2,100	34,000
増減額（B-A）	△5,341	△1,034	△623	△7,000
増減率（%）	△16.0	△21.4	△22.9	△17.1
（参考）前年同期実績	26,906	3,337	1,867	32,111

※当社は前連結会計年度より決算期を3月31日から9月30日に変更しました。そのため、前年同期実績については2016年10月～2017年9月の数値となっております。

### 【売上収益について】

HOME'S関連事業については、主力の賃貸・不動産売買サービスは問合せの数に応じた収益モデルになっており、提携ポータルサイトやWEBの有料集客、TVCMや交通広告等のブランディングをベースとしたLIFULL HOME'Sサイトへの集客については順調だったものの、Googleの検索アルゴリズムの変更の影響を受け、検索エンジン経由の集客が当初想定を下回っております。加えて、不採算分野であったリフォーム分野についての事業撤退を決定したことにより、当該事業の売上が見込めなくなったこともあり、前期に比べ4.4%増加する見込みであるものの、業績予想に対して16.0%下回る28,100百万円となる見込みです。

海外事業も同様に検索エンジン経由の集客が当初想定を下回った結果、前年同期に比べ13.9%増加する見込みであるものの、業績予想に対して21.4%下回る3,800百万円となる見込みです。

これらの状況を踏まえ、通期の売上収益予想を34,000百万円（対前回予想比▲7,000百万円、▲17.1%）に修正いたします。

### 【利益について】

利益面では、売上収益の状況を踏まえ、コストの効率化及びコスト削減に取り組んだ結果、営業費・人件費・広告宣伝費・固定費のすべての項目について当初予想を下回る見込みであり、販売費及び一般管理費は業績予想に対して15.8%下回る26,200百万円となる見込みですが、売上収益の見込みを踏まえた結果、営業利益を4,000百万円（同▲1,000百万円、▲20.0%）、親会社の所有者に帰属する当期利益を2,800百万円（同▲678百万円、▲19.5%）に修正いたします。

### 【Mitula子会社化による影響について】

当社は5月9日開示の「[Mitula社を完全子会社化するための友好的な手続き開始の合意](#)」にある通り、Mitula社の子会社化に向けた手続きを進めており、6月28日には当社臨時株主総会にて買取における対価の一部となる当社普通株式の有利発行が決議されております。

しかしながら本件買取のスケジュールは現段階で流動的であるため、当該買取に関わるコストの発生時期及び同社の連結開始の時期が未定のため、2018年6月までに計上しているコスト以外の当該コスト及び同社の連結開始後の業績については今回の予想に含まれておりません。

今後、業績予想に与える影響が大きいと判断される場合には速やかに開示いたします。

#### （注）業績予想に関する留意事項

上記の予想は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に関する仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により上記の予想とは異なる可能性があります。

以 上